

松戸市議団ニュース

◎6月議会が閉会しました

市長選の直後から始まった6月議会が7月1日に閉会しました。市長候補となった伊藤よいちろう前議員を欠き、4名の議員団で論戦に挑みました。

暴走を続ける安倍自公政権に呼応するように、市議会でも数の力による強引な議会運営が牙をむき始めました。

市民の暮らしを守る強く大きな市議団が、今こそ求められています。

《一般会計補正予算》より

◆生活保護から自立した人に、1年間の給付制度導入

無事に就職して生活保護から自立したものの、その後の税金や保険料の支払いに耐えられず、再び生活保護に戻ってしまう人が増えています。そこで、自立からの一年間、税や保険料の支払いを支援するための給付制度ができました。

自立後も、生活が安定するまで大変な状況はしばらく続きます。給付金を出すだけでなく、納税や保険料の収納状況などについても、各課と連携してのフォローが図れるよう訴えました。

◆ニート等に対応する若者就労支援、7月からスタート

4月に職業訓練センターに設置された、ニート等の若者向け就労相談窓口と連携し、相談から就職等の進路設定に至るまで一貫としたサポートを行う取り組みが始まります。市に対し「たとえ国からの補助金が打ち切られても、市単独でも支援を継続していく」事を確認。ブラック企業や、度重なる不採用などで、就労への意欲を失ってしまった若者たちに寄り添い、しっかりと支えるよう求めました。

◆北松戸保育所の老朽化に迅速な対応を

北松戸保育所は、築後42年が経ち、「IS値0.39、震度6の地震で倒壊・崩壊の恐れがある」ため、移転建て替えが提案されました。建て替えの候補地は、「地権者から30年間の無償貸与を受けられる」という市の提案に対し、「相続が発生した際には高額買取費用が生じる」、「30年後に解体してまた移転先を探さなければならない」などの指摘が相次ぎました。

委員会では「市立病院の駐車場の一部が活用できる。そこに仮設保育所をつくれれば、市の計画より1年早く移転を進められる」といった修正案が出され、日本共産党は「子どもたちの安全を最優先とすべき。市の土地で対応できるならば、活用を」と賛成しました。

「地域の子育てのセンターとして、また特別なニーズを持つ子どもたちの受け入れ先として、北松戸保育所はこれまで重要な役目を果たしてきた。建替を急ぎ、これからも公設公営で子どもたちが健やかに育つことのできる保育所を」と訴えました。



30人学級の実現や教室のクーラー設置…

教育の請願5本を自公が退ける

松戸教職員組合から5本の請願が出されました。

◆30人学級実現を

OECD34カ国の1クラス平均人数は24人、松戸は30.2人です。「少人数の方が、目が行き届き、イジメや不登校もケアしやすい」これは市教委も認めています。



過労死ラインの残業80時間を超える教師が100人以上という松戸市で、教師の増員と30人学級の実現で行き届いた教育を、と求めました。

◆障がい児への支援員の増員を

学習障害や、軽度発達障害を持つ子どもは市内に1291人。こうした特別なニーズをもつ子どもを支援する支援員が64校に22人配置されています。障がいに関係なく、どの子どもも等しく教育を受けられるよう、支援員の増員を求めました。

◆林間学園の費用補助を

小学5年生に1人1000円の補助をするのに必要な予算は約400万円。市の林間学園施設が廃止され、必要なくなった年間2000万円の維持管理経費うち一部を使えば実現できると提案。まずは消費税増税分だけでも補助すべきと求めました。

◆学校の改修予算アップを

老朽化した校舎やトイレ、繰り返す雨漏り。市が必要性を認める屋上防水や外壁・プール改修は67件。うち予算が付いたのはわずか6件です。国は学校施設の長寿命化について補助金を拡げています。この機会を活かし、明るく楽しい学校づくりを、と求めました。

◆クーラー設置の請願は棚上げに

昨年の温度測定では、職員室40℃、教室で38℃にもなりました。一刻も早いクーラー設置をという願いに、自民・公明が「継続審査」を主張。請願は数の力で棚上げとなり、9月議会で再審査されます。

◆集団的自衛権の行使容認に反対を求めた陳情

行使容認は、アメリカの戦争に日本が自ら進んで参加するものであり、日本の「自衛」とは関係ありません。それどころか「海外の戦争に参加すれば、日本も『報復テロ』の対象となる可能性が強くなる」など指摘されています。

恒久的な平和を願い、「世界平和都市宣言」をおこなった松戸市。「戦後の69年間で築き上げた信頼を投げ捨て、戦争の道へ踏み出すのか。平和を願い、市民の生命に責任を持つ立場として、行使容認に反対するのは当然」と、陳情の採択を強く訴えましたが、自民・保守、公明などの反対により否決されました。

《議案》

■指定管理者選考の公平性・透明性向上を

すべての選考委員が市の職員、内容も非公開で行われてきた指定管理者の選考。市議団は専門家や有識者など外部委員の登用と、情報公開を求めてきました。「外部委員を登用できるようにする」という条例改正は一步前進ですが、外部委員の人数規定も無く、傍聴や議事録の公開もありません。外部委員を過半数とする規定や情報公開を規則に盛り込むことを強く求めました。

■庶民に増税の追い討ち!? 軽自動車税の大幅アップ

軽自動車税の増税の背景にあるのは、自動車産業界とアメリカの思惑です。「消費税の増税で自動車の購入に影響が出ることを回避したい」と、自動車取得税を段階的に廃止。その減収を補うための軽自動車税の増税であり、軽自動車を13年以上使うと、さらなる重課税が強いられます。さらに「安い軽自動車税が自由貿易の障壁である」と指摘していたアメリカに対する、TPP参加に向けた手土産であると言われています。

消費税が増税され、さらに松戸市内で71,277台も使われている市民の足である軽自動車税の増税。大企業甘やかしのつけを国民に負わせる、このような増税のダブルパンチは絶対に許せません。

区分 (抜粋)	現行	増税案
原付き自転車(50CC以下)	1000円	2000円
二輪バイク(250CC以上)	4000円	6000円
軽自動車 (自家用)	7200円	10800円
軽自動車 (自家用・13年経過)	7200円	12900円

■新松戸学校跡地有効活用—

工事の不備でガラ撤去費用が不足…

旧新松戸北小・北中学校の解体工事で、アスベストが見つかり、想定外の工事が発生したため、「ガラ」の撤去費用が3,424万6,000円不足しました。

日本共産党は、学校跡地計画の全体を認めているわけではありません。しかし審査の中で、ガラの撤去は学校の売却益の基金の取り崩しで行うことや、解体工事で残された「ガラ」の撤去のみについての議案であることを確認し、近隣住民への安全等に配慮して、本議案に賛成しました。

■説明も理解も不十分のまま…

「子ども・子育て支援新制度3条例」成立

●新制度の実施を国が来年の4月と決めているため、実施の時期に何としても条例を間に合わせようとする市に対して、関係者や市民からは拙速に決めないよう多くの声が出されていました。保育施設や事業所は、新制度への移行に不安を抱え、様子を見ているのが実態です。

家庭的保育事業等（小規模保育など）と特定教育・特定保育（保育所・幼稚園・認定こども園）の2つの条例は、説明も議論も不十分として反対しました。

●認可保育所と小規模保育事業などについては「入所申込から施設決定まで、これまで通り市が責任を持つ」「利用者が施設と直接契約するのは幼稚園だけ」。現在の保育の質・水準を下げないように求めました。

一方で、3歳未満児が対象となる小規模保育事業などは無資格者による保育を認め、2階以上の保育室に必要とされる避難用の「屋内階段」と「屋外傾斜路・屋外階段」の両方の設置は義務付けられていません。さらに保育料の上乗せ料金は目安も上限も設けられず、監査体制も条例化されていません。

公立の保育所は建て替え後も民営化することなく、公立で存続させることを併せて求めました。

●放課後児童（学童保育）条例は、今回初めて国の基準が示され前進面もあって賛成しました。面積の狭さや定員40人を超えた時の専用の部屋の確保、支援員は全員資格者とすべきなどと指摘し要望しました。

【意見書】—高校授業料無償化復活に賛同者増える

国民投票法の廃止や消費税10%増税反対などわが党は7本の意見書を提案し、「高校の授業料無償化の復活」には民主・社民・市民力など11人が賛成。しかし、自民・公明などの反対で否決されました。

公明党が原案作成した2本の意見書については、「税と社会保障の一体改革の推進を求め医療・介護総合法の下での福祉予算削減を進める意見書」と「派遣法改悪やブラック企業の規制に手を入れないうわべの若者雇用対策を求める意見書」であり、反対しました。

2014年6月市議会 主な審査結果一覧表	会派	日本共産党			公明党					市民クラブ				松政クラブ				市民力		民主社民		無所属																					
		宇津野	高橋	高木	山口	城所	石川	高橋	伊東	飯箸	織原	諸角	矢部	山沢	渡邊	末松	大井	川谷	岩川	山口	深山	中川	杉山	石井	こひら	鈴木	木村	張替	田居	小林	小沢	山口	原裕	二階堂	安藤	関根	桜井	海老原	中田				
○：賛成 ×：反対（原案に対する態度） 日本共産党は6月議会で審議された35件の議案、請願、陳情、意見書に対し、29件に賛成、5件に反対しました(1件継続)	結果	史行	妙子	健	正子	正美	龍之	伸行	英一	公明	正幸	由美	愛子	誠	美喜子	裕人	知敏	清晶	剛士	研一	榮作	能一	英孝	由祥	由紀	みね子	みね子	勝雄	照康	俊彦	曉民	啓之	薫	剛	淳子	淳子	三	秀三	博	弘	京		
一般会計補正予算(修正案:北松戸保育所建替予算を削除)	一般議案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市税条例の一部改正(軽自動車税の増税など)	一般議案	可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
家庭的保育事業等の設備・運営に関する基準を定める条例	一般議案	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゆきとどいた教育の推進のため30人以下学級を求める請願	請願	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
特別なニーズを持つ子どもたちのため支援員増員を求める請願	請願	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
林間学園の保護者負担を軽減するための補助を求める請願	請願	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
教育施設の整備・拡充を求める請願	請願	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
児童・生徒の健康を守るため、教室にエアコン設置を求める請願	請願	継続	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集団的自衛権行使の容認に対する意見書の提出を求める陳情	陳情	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
国民不在の改憲手続法「国民投票法」の廃止を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
消費税10%への増税に反対する意見書	意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
教育委員会制度改革の廃止を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
医療・介護総合法の廃止を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
オスプレイの配備をやめるよう求める意見書	意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
労働者派遣法の改悪やめ、働く人を大切にす労働法制の実	意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
高校授業料無償化の復活を求める意見書	意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※：議長のため採決には加わらない 敬称略